



登場人物

リーニヤ

優秀な魔法職
カイトとは幼馴染



勇者カイト

天才的剣の
腕を持つ



Level 32

魔王



Level 50 MAX

大陸の支配を

目論む



Level 42

リーズリッド・フェンリル

魔王の側近

戦闘狂



明日はいよいよ
魔王城に乗り込む
決戦の時だ

世界は必ず
僕が平和にしてみせる

勇者
カイト

魔法職
リーニヤ



向こうが疲弊
している今が
チャンスハズさ

心配ないよ
魔王幹部はほとんど
倒したし



カイト少し
急ぎ過ぎじゃないかしら

貴方が強いのは
よく分かるけど
急ぎ過ぎると足元を
すくわれるかもしれないよ



うん頑張ろうね
カイト

さあ明日に備えて
今日はもう休もう・・・

明日は世界が
平和を手にする日だ

私カイトの事
信じてるから



どんな敵が来ても
絶対負けないさ

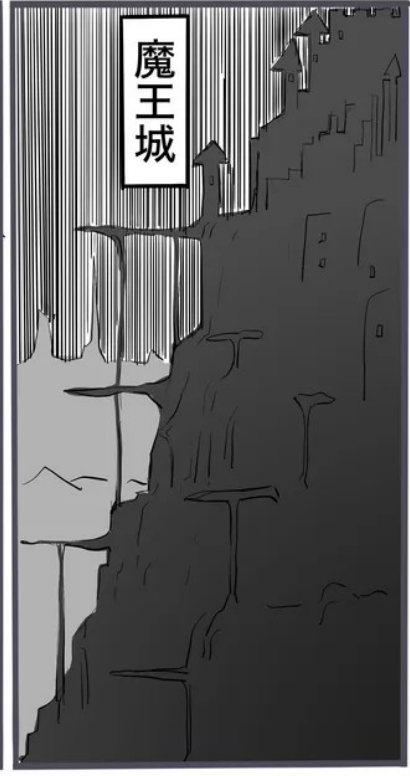
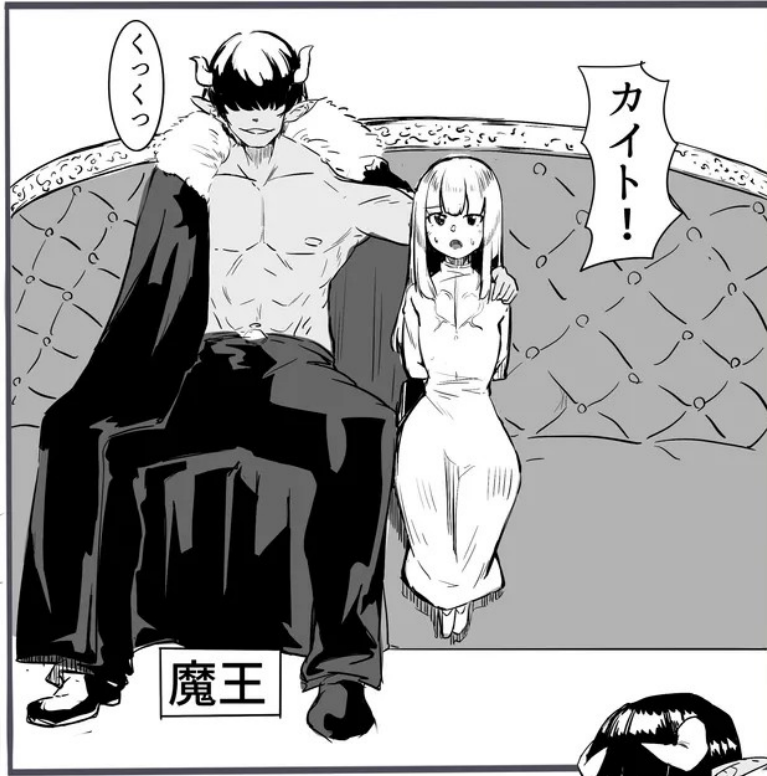
何より僕には
リーニヤがいてくれる



それで・・・
世界が平和になったら
リーニヤに伝えたい事が
あるんだ

ずっと伝えなかった
僕の気持ちを・・・

ドキ



お願い私達の負けで
いいから
カイトを殺さないで

俺様の首を取に
来ておいて随分と
調子のいい話だな

お願いします
何でも言う事
聞きますから・

ほう・
何でもか

これを飲み
俺様に忠誠を誓え

そうすれば
小僧の命は助けてやる

実験段階だが
魔族になる秘薬だ

ならば
これを飲め

さあ

どうする？

ふざけるな！

大丈夫だよ
リーニャ・

こんな奴ら
すぐに
僕が倒してみせるから



この子
死にますよ♪



早く止血しないと



何も心配ないよ

世界は僕が
平和に・

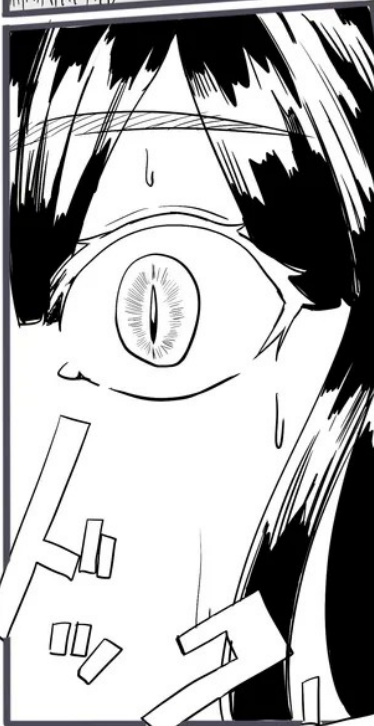


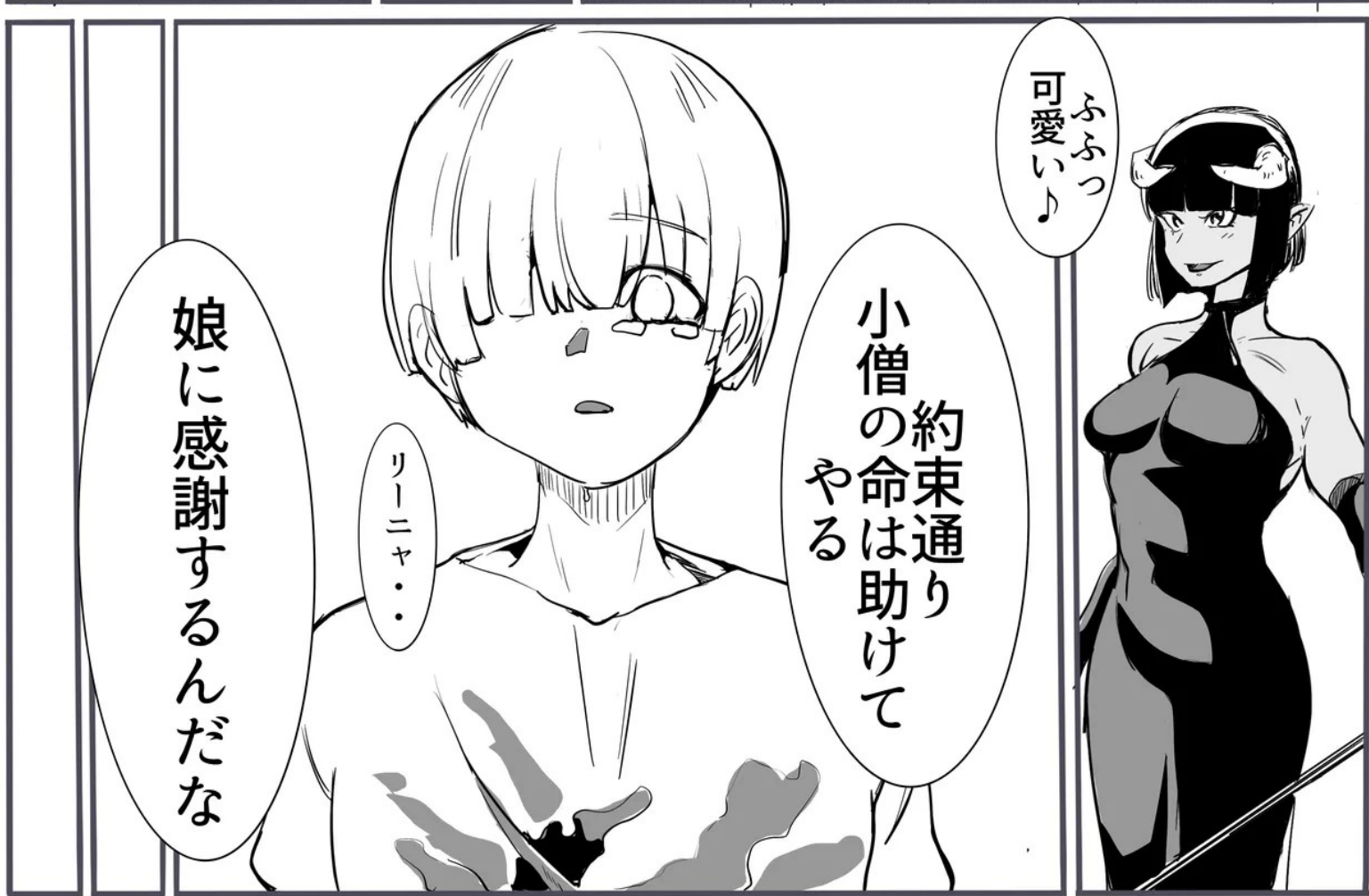
だめだっ
リーニャ!!

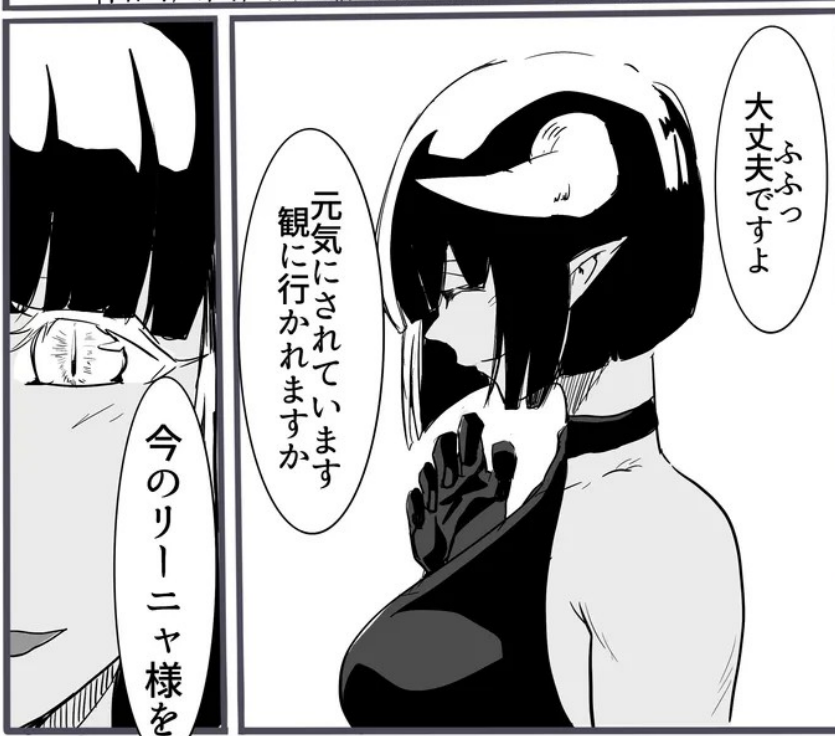
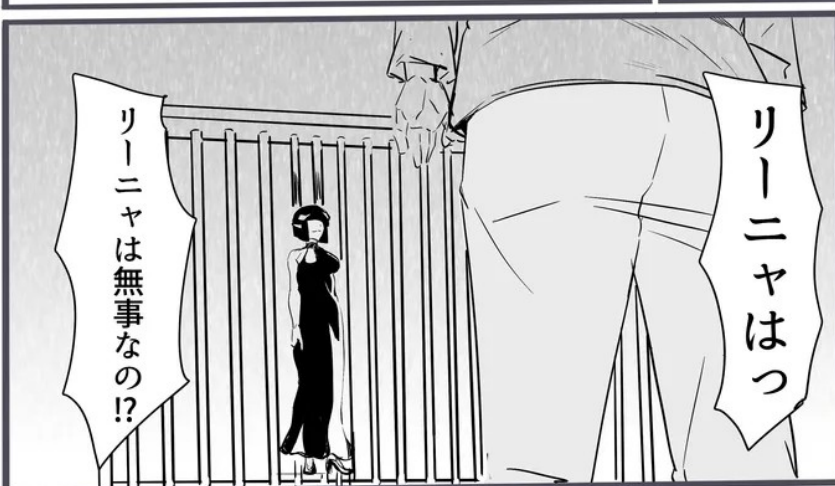


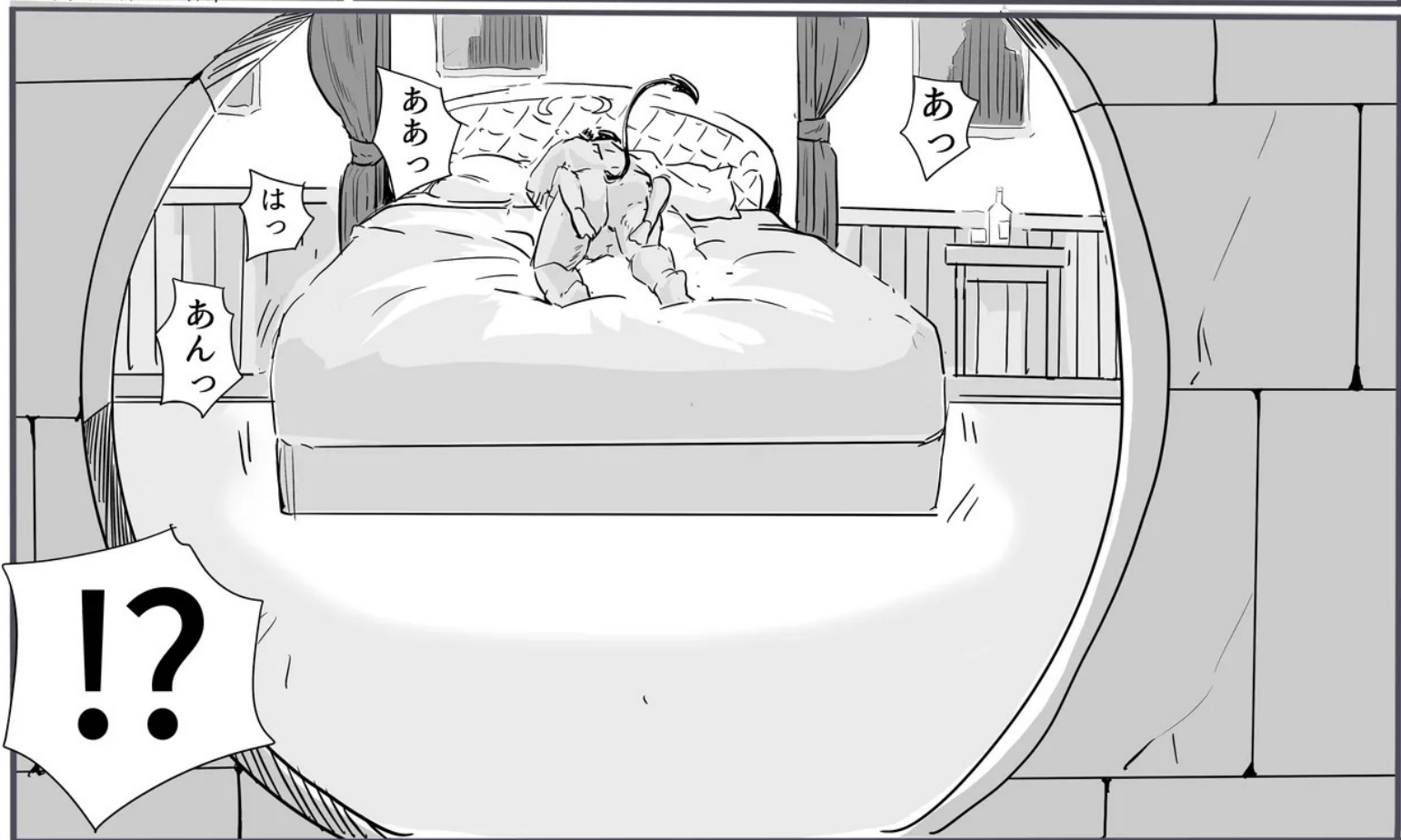
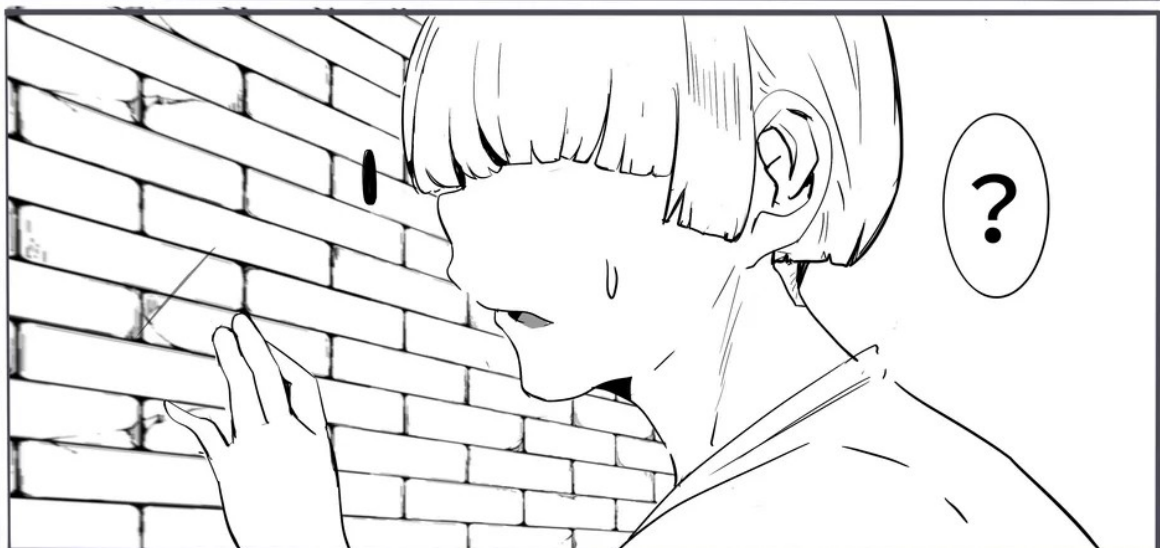
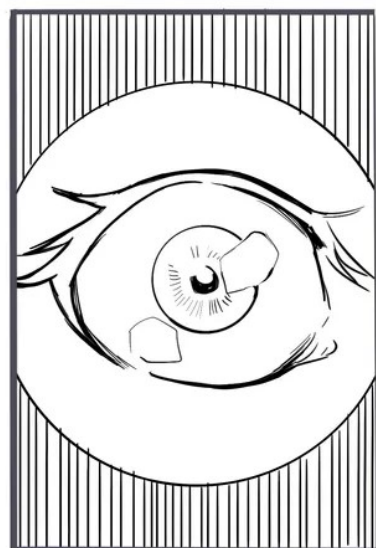
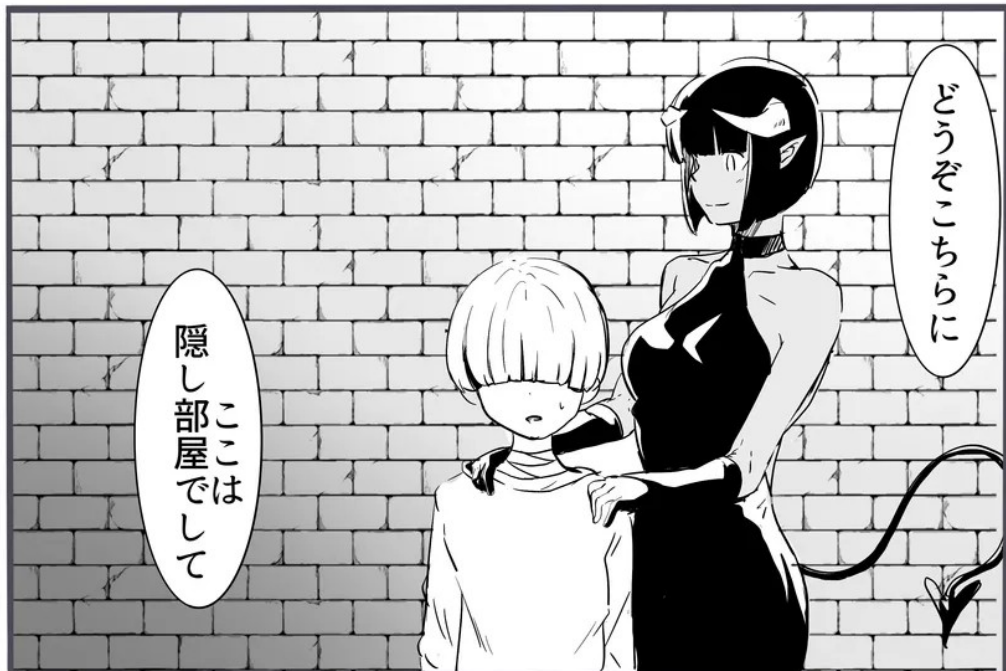
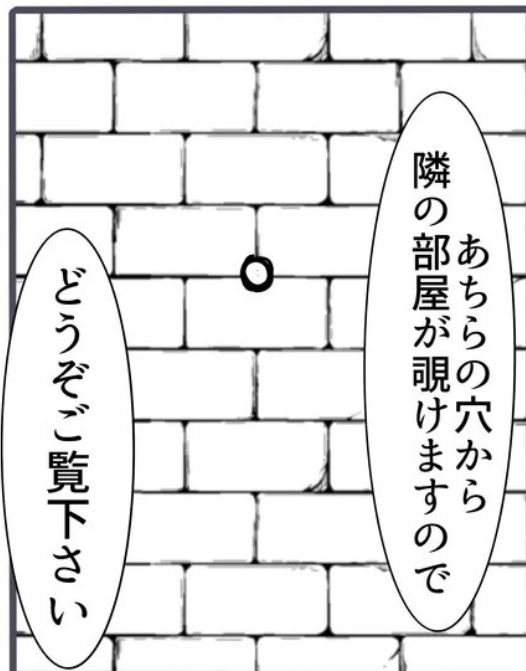
カイト・・・

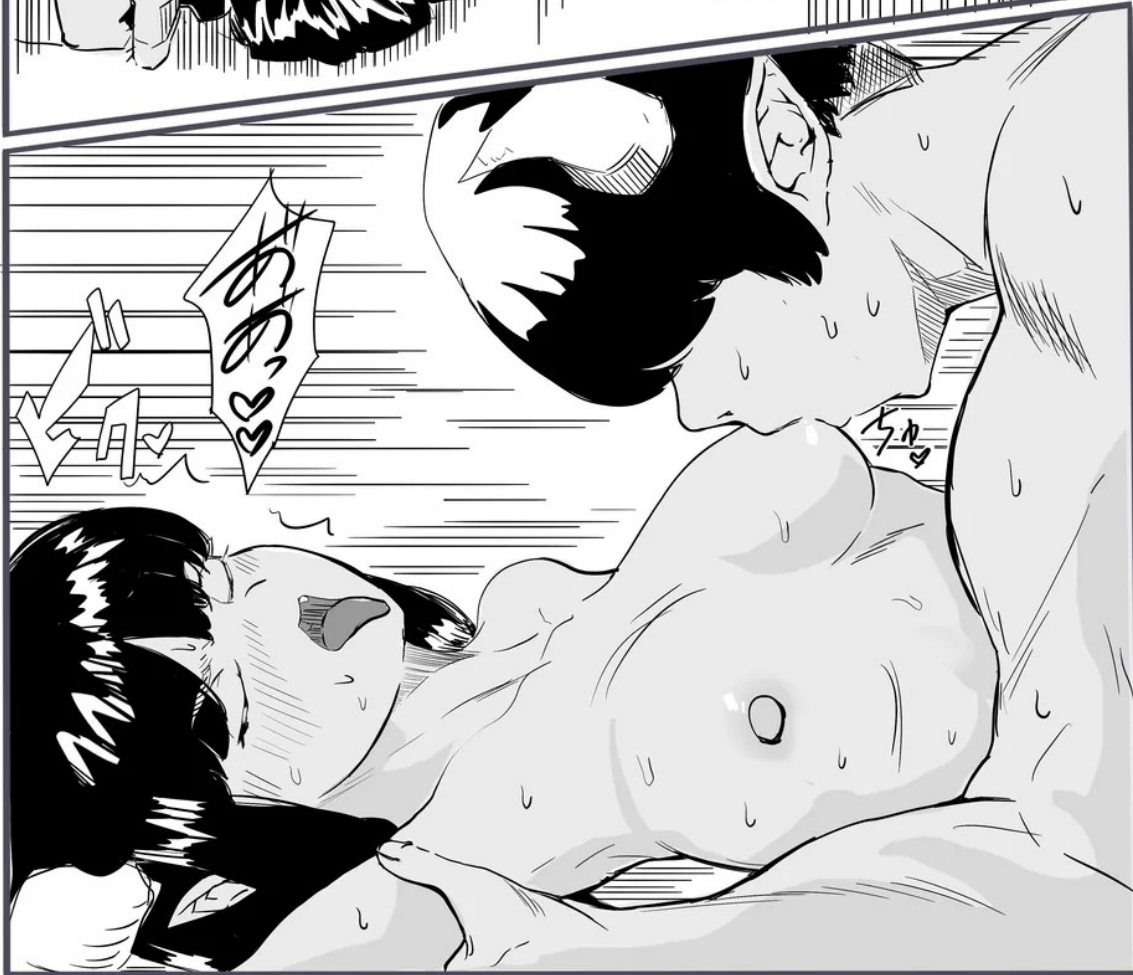
ごめんね・・・











カイト様
どうかリーニャ様を
責めないで下さい

あの子も最初は
頑張っていたんですよ

しかし

魔族となった躰は
性欲が増しますから

御本人では
どうする事も叶いません

加えて
ベッドで魔王様が
お相手とあつては

リーニャ様に
勝機などございません

もうすっかり
快乐を知った

女の顔になって
いますね♡

数日前

約束通り
我が支配を
受けてもらうぞ

私の事は好きにすればいい

でも身体は穢せても
心までは穢されない

貴方の思い通り
になんかならない

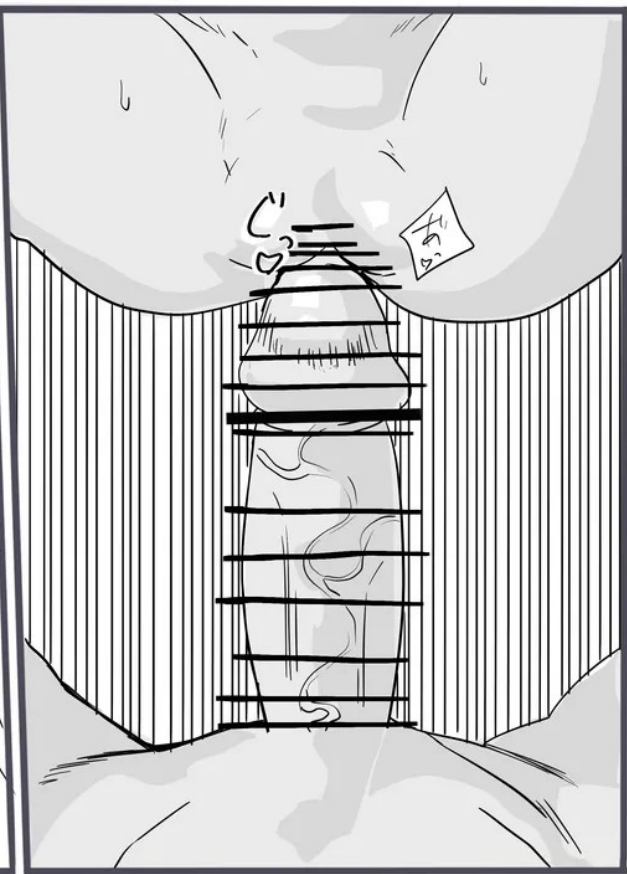
先ずは教育が
必要そうだな

!?

ちゅ♡

んん







あの年頃の
女の子はセックスには
弱いのですから



と、まあ強がって
いましたが

結局一晩で陥落



ち○ぽもしっかりと
受け止めて



それから毎晩
調教は続いて

今ではあの通り



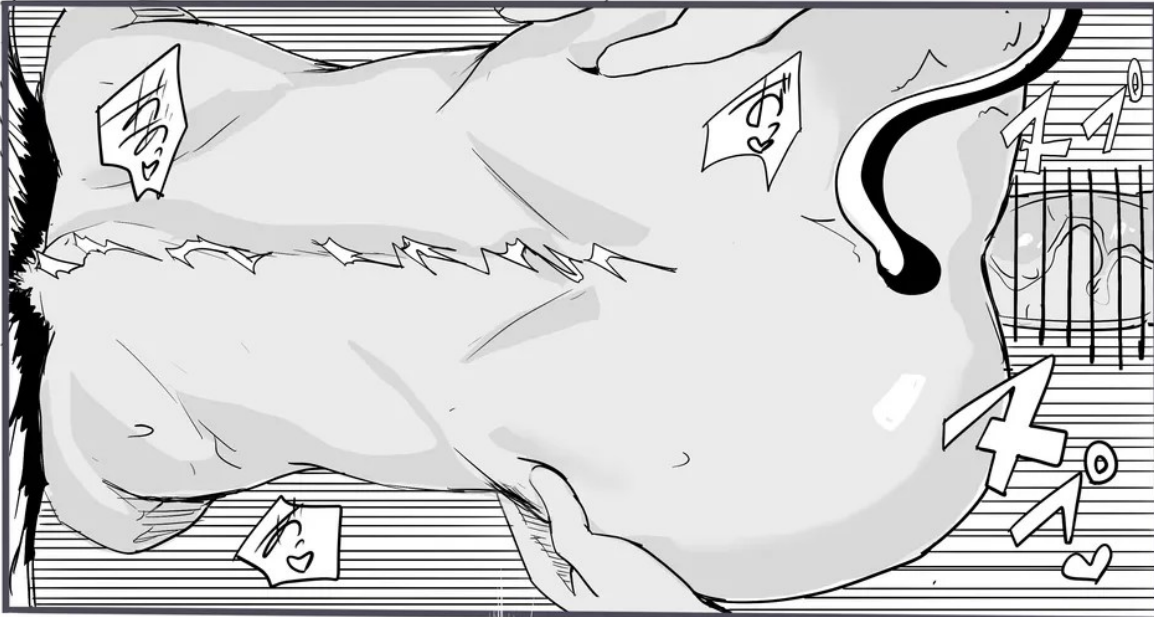
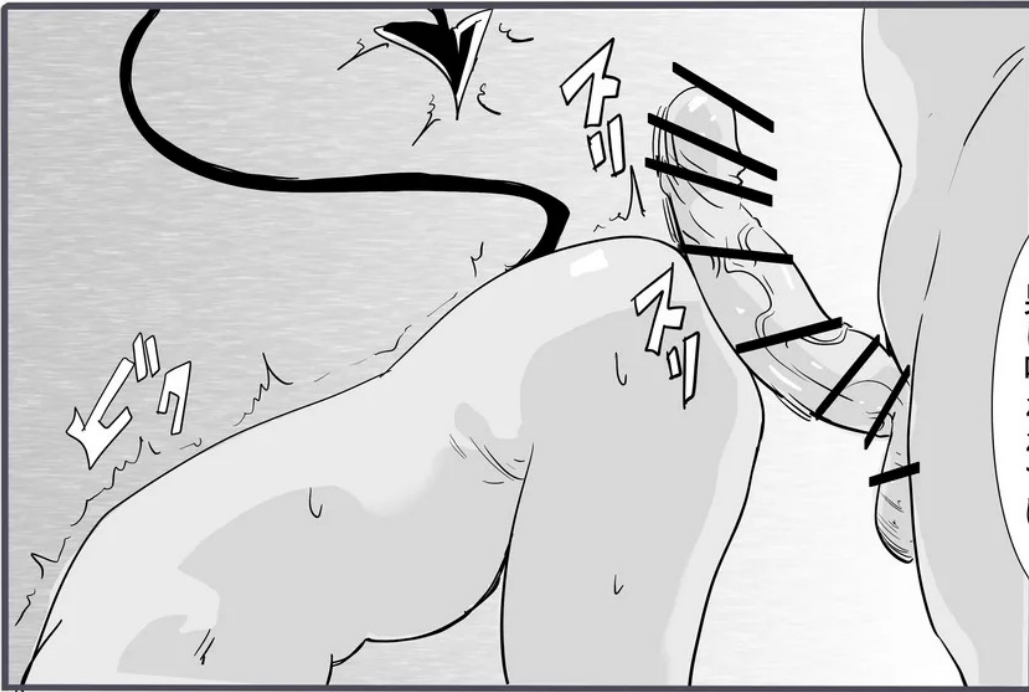
カイト様どうか
お気を落とさずに

好きだったのでしょう
リーニャ様の事



反抗的だったあの目も

今ではすっかり
牝のそれですね



エッチって
こんなに気持ちイイ
ものだったの？

何も考えられない

白くなつく

頭が真っ白に

なか
膣内が

挟まれる♡

?!

クズクズ

はっはっ

はっはっ

あ

あ

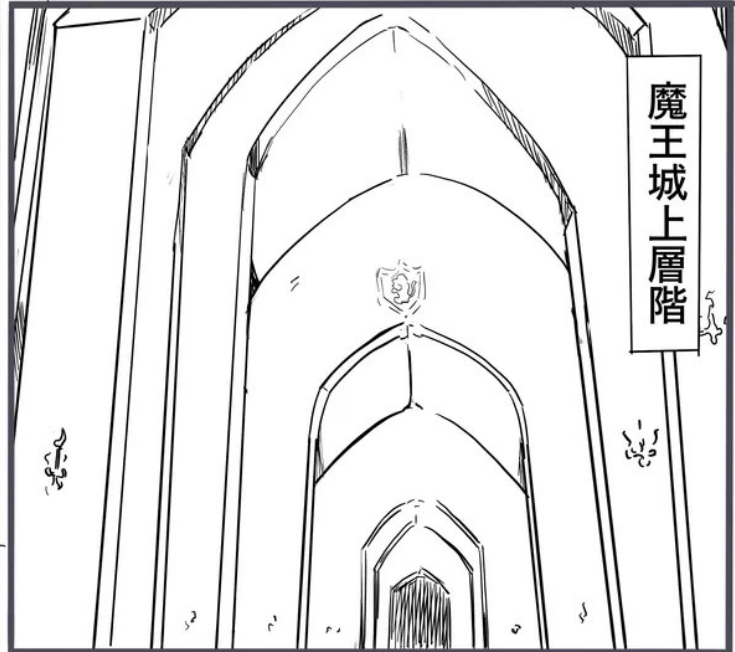








あの日から数日
が経た



魔王城上層階



しかし



この全てが夢で
ある事を祈っていた

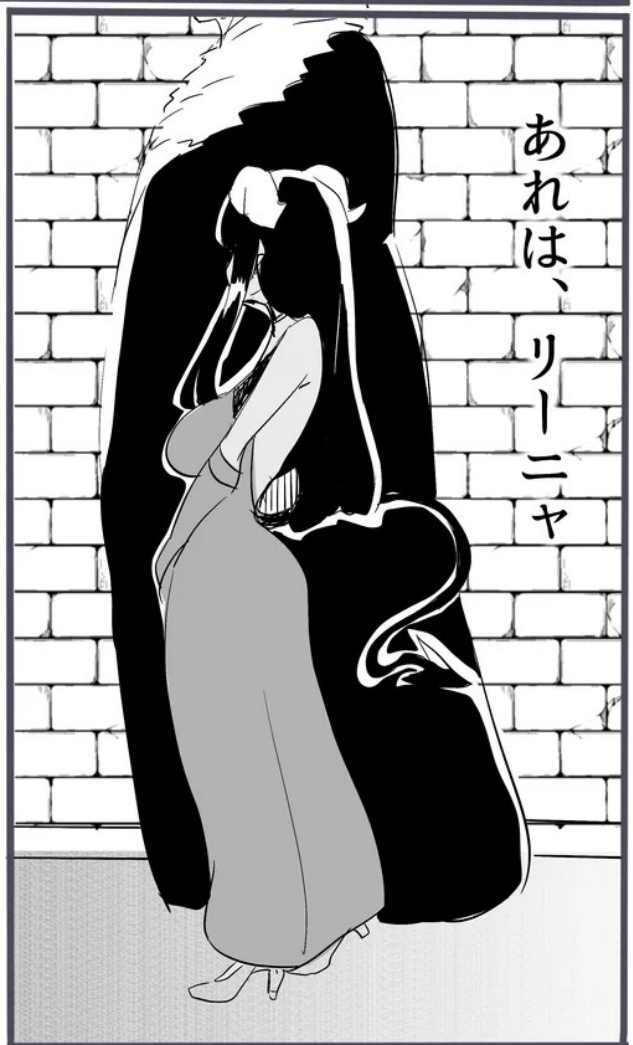


僕は何も考えられず



魔王と一緒に・・・

あんな奴と楽しそうに
どうして



あれは、リーニヤ



なのになのに
どうしてあんな...

リーニャ...



魔王は僕達の
敵な筈なのに

倒さなきゃいけない
敵なのに



観て下さい
あの顔

あの顔は
もう絶対魔王様に
堕ちてますよ♡



女の顔
してますよ



女は男に抱かれると
年齢関係なく

綺麗になっちゃうん
ですよー



リーニャ様
お綺麗になりましたよね



あの肌艶の良さ

全身から漂う
女のフェロモン

数刻前

きやあ

お前か
魔族になった
人間ってのは

俺達に少し
味見させてくれよ

声で
一体どんな
のかな

ひっ

ほう
俺様のモノに
手を出すか

ズイ

中々肝の据わった
奴等だ

部下が無礼をした
謝罪しよう

怪我は無いか

別に・

大丈夫

当然
触れた瞬間に
首が落ちるがな

どうした
遠慮はいらん
好きに喰い散らかせ

王様

あー
スミヤン

リーニャ様本日は
こういったお召し物は

如何でしょうか？
お似合いになると思います

私さう
リズさん
という派手なモノは
ちよつと

恥ずかしいです・・

たまには良いではないですか
魔王様もきつとお悦びになると
思います

別に魔王に
なんか

喜んで
貰わなくて

まあ難しい事は
考えず

リーニャ様も
愉しまれては？

快楽の頂を知るのは
女の命題

女の幸せ

魔族も人間も

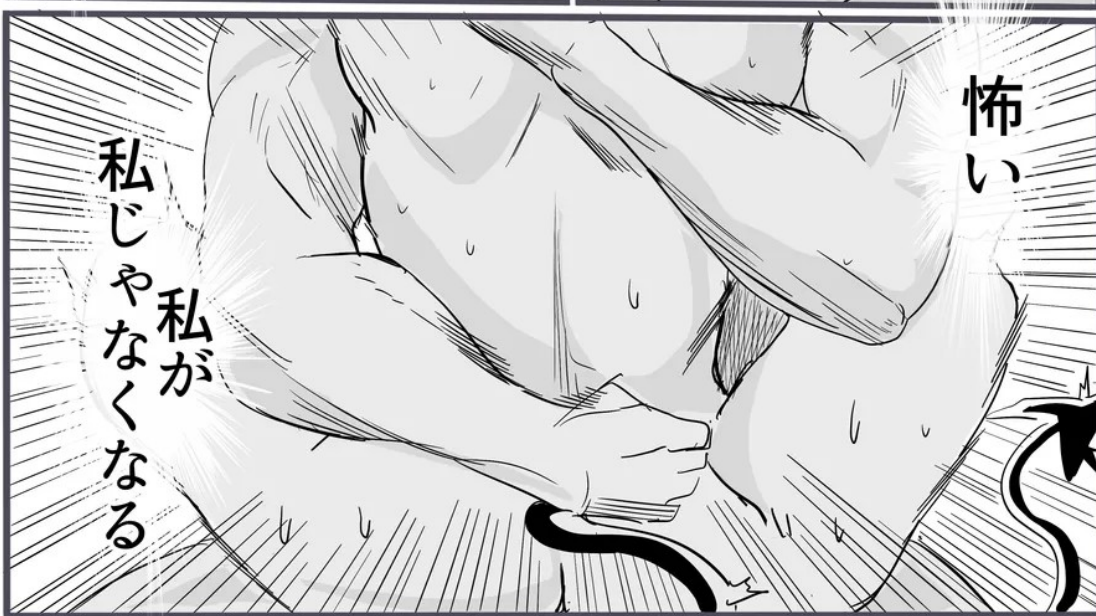
女であれば
そこに違いはありません

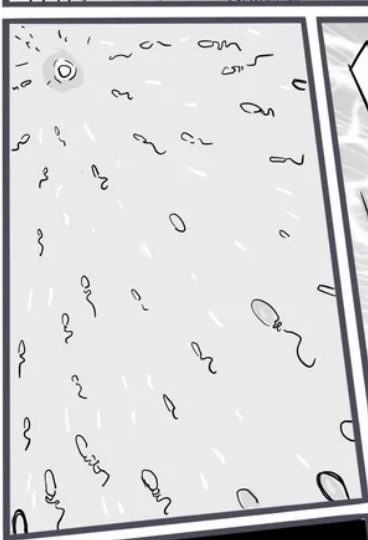
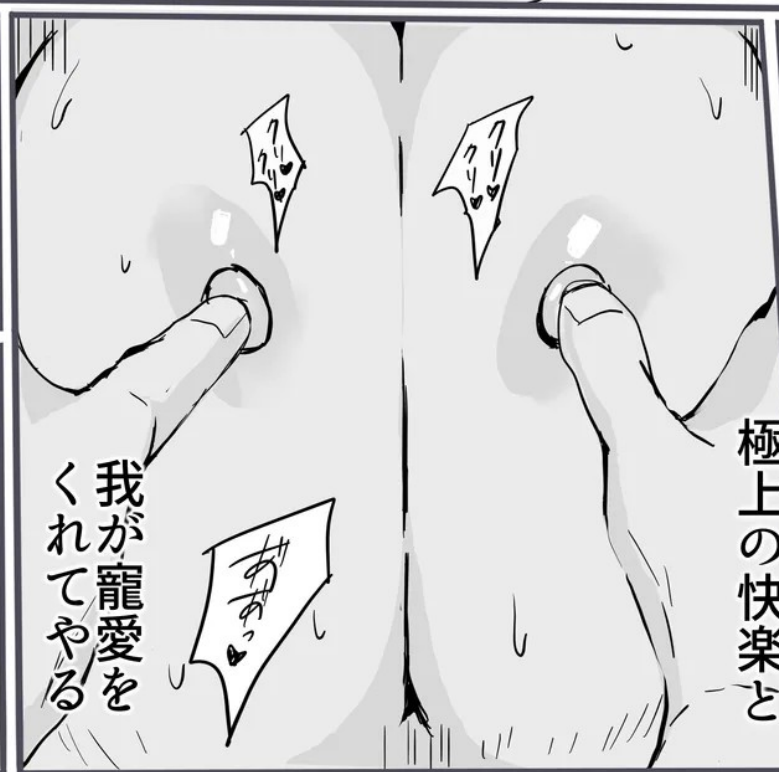
そして
至上の快楽を
もたらしてください

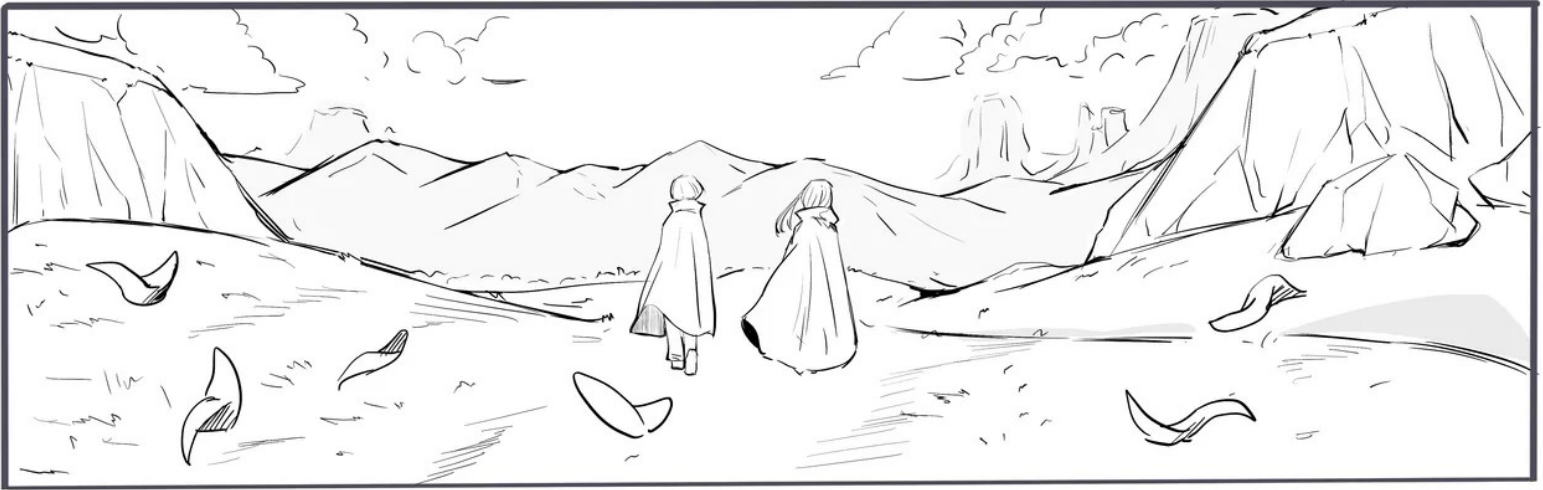
殿方に尽くす事は
女の勤めですよ♡











数ヶ月後

カイト様本日は
リーニヤ様よりご報告が御座います

まあご覧頂ければ
お分かりかと思いますが

リーニヤ様
御懷妊致しました

これにより魔王様の
正式な妻として

リーニヤ様は
我ら魔王軍に迎え入れられます

そう言う事だから

カイト・・・

本当に
ごめんなさい

リーニヤ・・・

浴場

リーニャ様



お背中
お流し致しますわ



私



カイトに
嫌われちゃたよね

カイト様にも
心の整理をする

時間が必要な筈です

カイト様にとってみれば
突然の話ですから

私、カイト嫌われたら
どうすれば



...

リーニャ様は
魔王様の事

お慕いしている
のでしよう

カイト様よりも

隠さなくっても
いいんですよ

だって妊娠を
許したと言う事は

そういう事ですよ？

魔法職であれば
魔力で避妊するのは
容易な事

リーニャ様ほどの
魔法職であれば
たとえ魔王様でも
妊娠させる事など叶いません
と誰か言ってたはず

まあカイト様は
こう言った情報には
無知そうですね

伝えなければ
無理矢理孕まされた
と言う事で話は通るでしょう

ち、違つ私はただ!!
カイトの事が心配で...

ええ、リーニャ様は
何も悪くありません

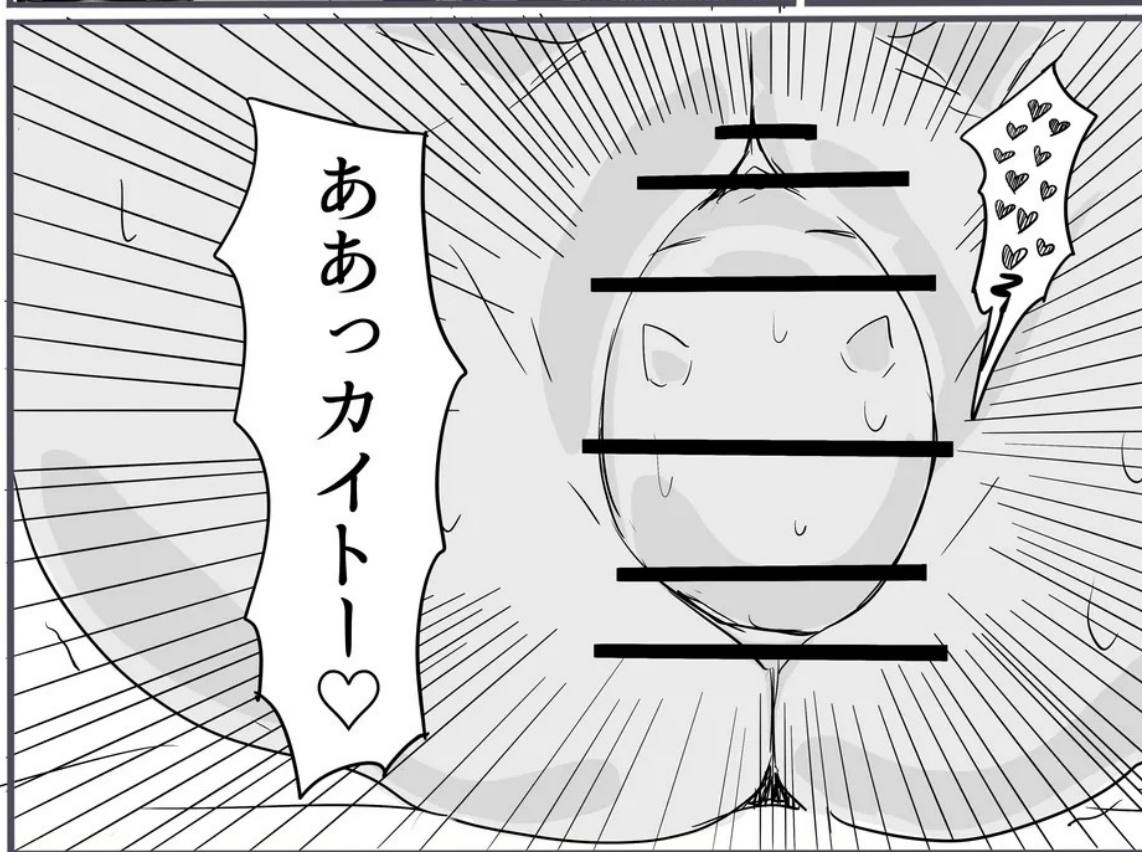
より優秀な雄を求めるのは
雌の本能ですから♡

まして孕むとなれば男は
よりシビアに厳選しないと♡

出産は女の
聖域ですからね♡

お願いカイトには
この事は言わないで

かしこまりました
リーニャ様♪





いくらでも
お産み致します

魔王様のお望み
であれば



質の良い
魔族を産んだ様だな

御苦労だったな
リーニャ

ちゅぽ♡



仕込んで
やるからな

直ぐに二人目も

ちゅー♡
ちゅー♡



魔王様に

とわ
永遠の忠誠を♡



ニャ♡



魔王のものですから♡

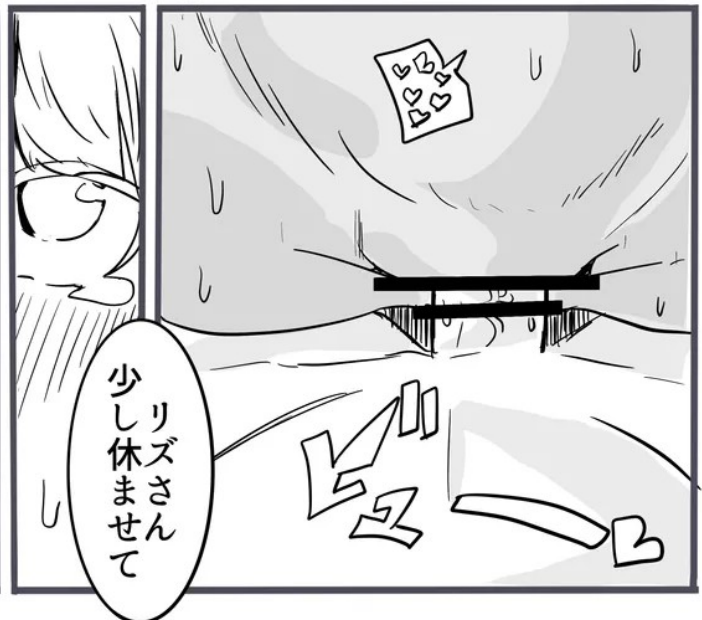
仰せのままに
私の心も体も

ギゅ♡



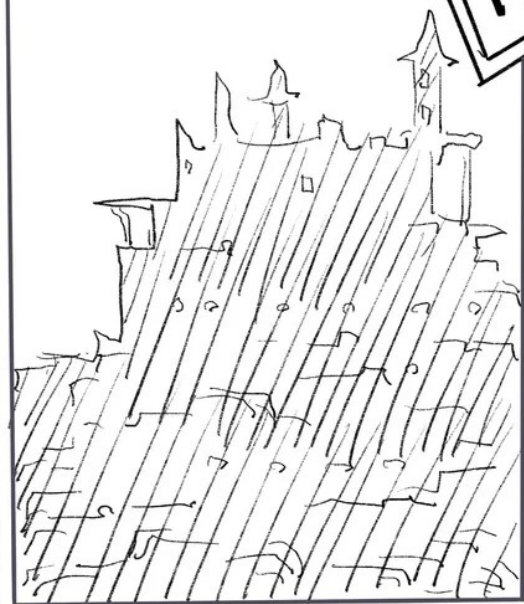
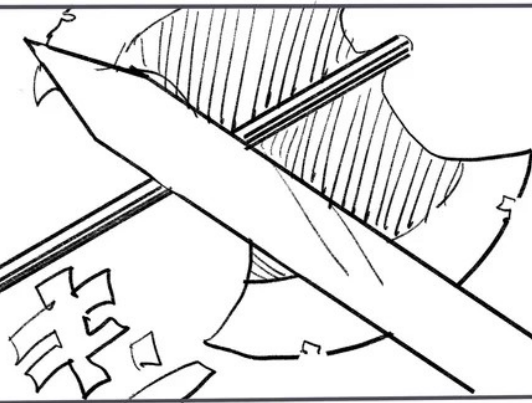
久しぶりに
出逢えた骨のある男

リーニヤ様が
要らないなら
私が貰っちゃいましょう



おきり

地下闘技場



お見事ですカイト様
病み上がりだと言うのに

まさか一本取られて
しまうとは
私も鈍っている様で

貴方とは一度
戦っていますから

技も動きも
既に見切っています

もう二度と

貴方に遅れは
とりません

キエ

後五年・・・
いや二年もあれば
我々を容易に
凌駕出来たでしょうに
何故待てなかった
のですか？

何故魔王様との
決戦を急がれたのですか？

ねえカイト様

?

リーニャ様ですか？

貴方眼を
曇らせたのは

!!

平和な世界で
あの子との甘い生活

欲望に焦り
足元を掬われましたか

僕が・・
僕がいけないんだ

リーニヤはちゃんと
止めていたのに

僕が焦ったばかりに
全部失って・・

僕が全部
悪いんだ・・

カイト様そんなに
自分を責めてはいけません

カイト様程のお人が
過去を引きずるのは
観て要られません

失ったもの
よりも

とこで
わたくし強い男が
大好きなんですよ

でも私より強い男
何てそうそう居ませんから

正直持て余して
いるんですよ 躰♡

あ、あの
胸当たって・

カイト様は私の事
どう思います？

やはり魔族の
女は抵抗がありますか？

見識を広める意味でも

一度試してみませんか？

私惚れた殿方には

あ、あの
その・・

結構尽くすんですよ

後悔は

させませんから

やはりベッドの上では
私が上手の様ですね♡

魔族の女も悪く無いでしょ♡
どうでしたか？

もちろんカイト様の
ち○ぽも素敵でしたよ♡

私より弱い男のち○ぽ何て
挿れるに値しませんから

ですから
私もこういうのは久々で
ついはいでしまいました♡

申し訳ありません
カイト様の初めてなのに
がつついてしまつて

それで
カイト様

私とお付き合ひ
してくれそうですよね♡

fin